

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟市立横越中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 950 - 0208
新潟市江南区横越中央3-4-1

E-mail : j404yokogoshi1@city-niigata.ed.jp
 Website : www.yoko-chu.city-niigata.ed.jp/

児童生徒数：男子 178名 女子 162名 合計 340
 名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

- 1 人権の日をメインにした、人権感覚を養い高める活動「人権プロジェクト」
月1回の人権の日を中心に、互いの人権感覚を磨き合い高める活動を実施した。
 - ① 人権の日全校集会における全校縦割りチームによるSST
→他者理解と自己開示を促進して、思いやりの心を育て、人権尊重の実践力を養う活動を実施
 - ② 全校生徒による、人権作文への取組
→これまでの活動を振り返り、人権に関する考えを深める
 - ③ 生徒会による思いやりメッセージ作成
→生徒一人一人が互いに尊重しあい、思いやりをもち、人権感覚を磨くために、メッセージを作成し、それをハート型に貼り合わせ、生徒玄関に掲示

- 2 福祉講話、福祉施設訪問「人間の生き方・地域の福祉を考える」
 - ① 福祉現場の現状や障がい者を取り巻く状況を知り、自分の課題テーマを設定する。→障がい者体験談の講演、福祉施設所長の講話
 - ② 調査活動の計画作成→現地調査、福祉体験の準備
 - ③ 福祉施設を訪問し、福祉体験や交流活動行い、人権についてレポートを作成→発表
以上の流れで、福祉という視点から生き方や人権について深く考え、今後の自分の生活を見直す活動を実施した。

- 3 ゲストティーチャーを迎えての学年一斉道徳授業「地域の歴史・文化」
ゲストティーチャーを迎え、地域の歴史や伝統、文化について学ぶ授業を実施した。
 - ◇ 1年生 「地域の歴史を学ぶ」：地域の成り立ちや偉人、発展の様子
＜講師＞郷土史家 神田勝郎 様
 - ◇ 2年生 「横越中を知ろう」：中学校の歴史や校歌・像等のいわれ
＜講師＞元横越町教育長 右近次男 様
 - ◇ 3年生 「横越のために」：地方新聞に取り上げられた地域のボランティア活動の実践についての講演
＜講師＞地域ボランティア（木津在住） 保科正次 様

- 4 3年生「公民」の授業における国際理解の授業（クラス別に全クラス実施）
 - 南北問題、南南問題を考えるためのシミュレーション授業
 - ・シミュレーションを通して、地域格差や国際協力、国際分業を考えさせる。
 - ・シミュレーションにより、途上国の厳しい状況や困難な点を模擬体験することにより、日本人として、自分たちに何ができるか、何をすべきか考えさせ討論させる。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
 時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）